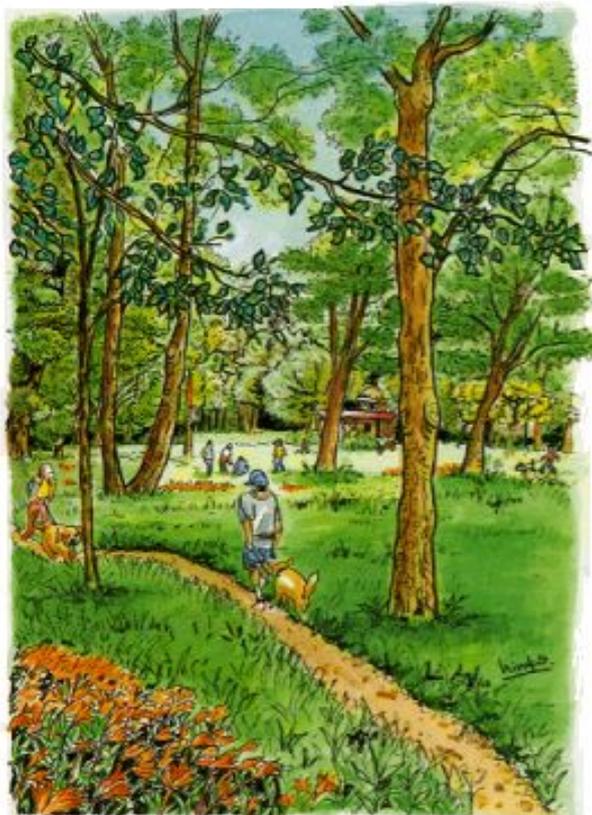


足利風 -ashikaga-fu

2014
8月号
Vol. 33

桐生市民広場



画・蓮沼ヒロ子

足利市民活動センター

開館時間：平日 午前10時～午後7時

〒326-0051

栃木県足利市大橋町1丁目2006-3

TEL 0284(44)7311

FAX 0284(44)7312

mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

☆ ご案内 ☆

- *特集！
- *TOPICS
- *私のボランティアことはじめ
- *サークル紹介
- *インフォメーション
- *センターからのご案内

「福島ごと引っ越したい！」

ふる里・福島を遠く離れて避難暮らしにも慣れた少女のひと言・・・「福島ごと引っ越したい！」が、胸を哀しみ色に染める。また、私がコーディネートした青年たちの全国集会での基調講演・福島のある村長との最後の質疑応答・・・「われわれに今、何か出来る支援はありませんか？」「支援の気持ちだけで結構。今は何も要りません！」～断固としたこのひと言に満席の会場は一瞬凍りついた。そして、その後の涙を浮かべて語る村長のひと言に、会場は、どよめき、震え、みな号泣した・・・「ただ一つだけなんです。元のふる里・福島に帰してください！！」。～何の罪も無い人々を、ナマ木を裂くように、DNAの染み込んだふる里の風や土から、無理やり切り離れた者たちの罪は無惨で深い。

魂の奥深くから歌わずにはいられない心を歌う“震災・原発被災の万葉集”がある～「窓辺から見ている空は福島先週までと変わらない空」「わが町はチェルノブイリとなり果てし帰るあてなき避難民となる」「ふるさとは無音無人の町になり地の果てのごと遠くなりたり」「原発に汚染されたる草を食(は)む人なき野辺に放たれし牛」「終わりなく始まりもなくフクシマは苦しみ深しこれからもまた」・・・そして、ボランティア。「被災地でボランティアせる子帰り来て熱き飯食う言葉少なく」。

・・・瀬戸内寂聴さんの言葉が重い～人間は忘れるという能力が与えられているから、生きていける。忘れなければ生きていけないようなつらいこともある。でも、決して忘れてはならないこともある。それが震災です。原発事故です。「代受苦」という仏教の言葉がある。私たちがこうして生きていられるのは、震災で亡くなった人たちが代わりに苦しみを受けてくれたからです。だからこそ、忘れてはいけない。・・・人間も、モノも、すべては変わっていきます。今の世の中が悪くても、変われると思うから、私は希望を捨てられないのです。(M生)



* がんばろう東北！ボランティア報告会 *

5月11日(日)午後、足利市民活動センターみんなの広場で、上記報告会が開催されました。「がんばろう 東北！」応援プロジェクト足利風代表の鈴木光尚さんからスライドを交えて3年間の報告。その後、子ども演劇集団「ドリームワールド」(夢のつばさ)による3月22日宮城県山元町での「震災支援チャリティ東北公演」報告がありました。当日の公演DVD映写・被災地の現状報告そして朗読“あきらめないで”“あの日を忘れない”など、感動的な報告会となりました。やはり、被災地の現場を見て、感じることの大切さ・・・それが子どもたち、青年たちを



成長させたということを実感しました。公演後のアンケート:「遠方みなさんが私たちのことをこんなに考えて下さっていることに感謝の気持ちでいっぱいです。涙がこみ上げてきました。ありがとうございました」「とても感動しました」「気持ちが前向きになりました」等々。若いフレッシュな感性がいっぱいの報告会でした。

* ボランティア・バスパック

「被災地に花を咲かせたい！」に参加して*

～足利工業高等学校 産業デザイン科2年 飯塚永遠～

私は今回初めて東北を訪れました。

震災当時から今までニュースなどで現地の写真や動画を見ていたけどそれだけで知っていた気になっていたんだと、行ってみて気づかされました。実際に自分の目で見ないと分からないこと、知れないことはたくさんあって情報だけ得るのとは全くの違いがありました。出発する前私は、きっとこんな感じだろうな、なんて現地の様子を想像していたけど着いてから、一面何も無い土地や崩壊した建物を見て何とも言えないような気持ちになってここはこうなっているんだ、こんな被害があったんだと色々なことを「改めて」知ったのではなく「新たに」知りました。



現地の人々の温かさや明るさにも触れました。買い物をした商店の店員さんに、「ありがとうございました」と笑顔でお礼を言われむしろお礼を言うのは私なものにな、と少し照れくさくなりました。バスで移動する際も、わざわざ外に出てきてくれて手を振ったりお辞儀をしたり、心の温かさが身に染みしました。今回の活動で知れたこと、考えたことは色々あるけれど全部をうまく言葉にすることは出来ません。

でも現地の案内の方がおっしゃった「東北の被災地のことを知って、想ってくれるだけでも支援だと思っています」と、という言葉聞いて、まずは知ることが大事なんだと、そしてそこから、募金をしたり被災地に訪れてみたりなど行動にして支援ができるのが良いのではないかと思いました。

何気なく募金するだけでも十分な支援ですが、協力をしようという気持ちを持ちながら募金ができたらいいなと思います。

これをきっかけに、たくさんの方が被災地のことを知って自らボランティア活動などに参加してくれたらいいなと思っています。

ただそれは助けようという意識ではなく、一緒に頑張ろう、切り抜けようという意識の元であってほしい。でもこれはあくまで私の意見なので、どんな考えの人も、まずは東北に関わってみて自分なりの支援をしてほしいです。きっと東北の為だけでなく、自分の為にもなると思います。

* 団体紹介『足利モロロジー事務所』*

昭和40年に倫理道德の学習・実践・普及を目的に、足利市内の有志により設立された団体です。「モロロジー」(道德科学)に基づき、形式ばかりでなく心づかいも重視する道德を勧めており、会の名前は、そこに由来しています。会員は、社会人を中心に70名強で約6割が男性です。活動は多岐にわたっています。主たるものは「心の生涯学習セミナー」です。このセミナーは、2日間にわたり、モロロジーを系統立って学ぶもので、一般の方にも「モロロジー」を理論的に理解してもらうことを目指しています。また、日常生活に直結した日々の心づかいと道德実行をわかりやすく説明した「ニューモラル講演会」では講師の体験等も多くふまえて、身近な話題を取り上げての講演は聴講者に好評を得ています。平素は(公益財団法人)モロロジー研究所で発行されているテキストや小冊子「ニューモラル」などを活用して学んでいます。「家族のきずなエッセイ募集」は、小中学生に家族についての400字エッセイを募集し、優秀賞の表彰やエッセイ集の作成をしています。平成25年度は1110名の応募があり、年々増えています。足利花火大会後の清掃作業や多くのボランティア活動にも積極的に参加しています。春や秋の新緑や紅葉狩り、新年会や懇親会など会員相互の親睦を深める行事も多く行っています。新入会員も大歓迎です。

① インフォメーション ①

☆がんばろう東北！ ボランティア報告会

日 時：2014年 8月 10日(日) 午後 1時半 ～ 3時

会 場：足利市民活動センター

報 告：「“青い鯉のぼり”の大曲浜地区・仮設の現状」(東松島市)
お話：久保田光明さん(NPO法人ピースサポート協会理事長)

「きっかけバス47」(南三陸町)

お話：笹井達也さん(栃木県代表・東京福祉大学)

「“はるか”のひまわり」(宮城・山元町)

お話：柳沢 邦男さん(足利)

「被災地に花を咲かせたい！」(宮城・山元町)

お話：ドリームワールドのみなさん(足利)

※ 詳しくはチラシをご参照ください。

* センターからのご案内 *

☆みんなの広場 ～ 8月・9月のご案内 ～

* 紙細工あそび展 (7月28日～8月7日)

☆☆ワークショップ☆☆ 紙の“カブト虫とくわがた”を作ってあそぼう！

7/31(木)午後2時～4時 ・ 8/5(火)午後2時～4時

* 足利の古庭園写真展(8月11日～28日)

* ハングルの書 展～田中佑雲の世界～(9月1日～11日)

* 足利山岳映画会展(9月16日～25日)

* 世界の山岳写真展～早川和子の宇宙～ (9月29日～10月9日)

☆相談室 & 講座のご案内

* 相談室 = 毎月第2・第4水曜 午後2時～4時 ※詳しくは、別紙参照

* 講 座 = 毎月1回 午後7時～9時 ※詳しくは、別紙参照

編集後記

昨年、鏝阿寺本堂が国宝になり、7月には織姫神社が“恋人の聖地”に認定されたり、今年の花火大会は100回記念・・・と、何となくワクワクの足利です。いろいろな方々に足利の良さを感じていただけたら・・・、良いな～♪ (コッペ)

“ 講座・相談室のご案内 ”

【相談室】

| 日付 | 相談テーマ | 相談員 |
|----------|--------------|-----------------------------|
| 8/6 (水) | 楽しいレクを始めよう | 嶋田 英紀さん (NPO法人NOSAP理事長) |
| 8/20 (水) | エコな家庭菜園入門 | 中庭 三夫さん (NPO法人足利水土里探偵団) |
| 9/10 (水) | 一人歩きできる旅行英会話 | 奥中 敏則さん (AIAボランティア通訳委員長) |
| 9/24 (水) | 快活に高齢社会を生きる | 菅沼 一三雄さん (NPO法人快活副理事長) |

時間 午後2時～午後4時

会場 足利市民活動センター（旧保健所） 2階 ワーキングルーム

【講座】

| 日付 | 講座名 |
|----------|-------------------------|
| 8/23 (土) | 足利を民話の語りで知ろう！ |
| | 講師：小池 久仁子さん（おりひめ民話の会代表） |
| 9/20 (土) | 足利を映像を通して知ろう！ |
| | 講師：石川 勝さん（足利山岳映画会代表） |

時間 午後1時30分～午後3時

会場 足利市民活動センター（旧保健所） 2階 会議室

お問い合わせ・連絡先

〒326-0051 栃木県足利市大橋町1-2006-3 (☎0284-44-7311)

“ 企 画 展 の ご 案 内 ”

| 期間 | 企画展名 | 出展者 |
|-----------------------|--|-----------|
| 7/28 (月) ~8/7 (木) | 紙細工あそび展 ☆☆ワークショップ☆☆ 紙の“カブト虫とくわがた”を 作ってあそぼう! | 長 太三さん |
| 8/11 (月) ~8/28 (木) | 足利の古庭園写真展 | 足利庭園文化研究会 |
| 9/1 (月) ~9/11 (木) | ハングルの書 展 ~田中佑雲の世界~ | 田中 佑雲さん |
| 9/16 (火) ~9/25 (木) | 足利山岳映画会 展 | 石川 勝さん |
| 9/29 (月) ~10/9 (木) | 世界の山岳写真展 ~早川和子の宇宙~ | 早川 和子さん |

展示会場 足利市民活動センター (旧保健所) 3階 みんなの広場
(足利市大橋町1丁目2006-3 ☎0284-44-7311)

展示時間 午前10時~午後7時

休館日 土・日・祝